



# 行財政運営から見た 裾野市の姿

裾野市長 高村謙二

## 本日の構成

1. 裾野市の財政(今後の5年)
2. 行財政構造改革への取り組み



# 1. 裾野市の財政(今後の5年)

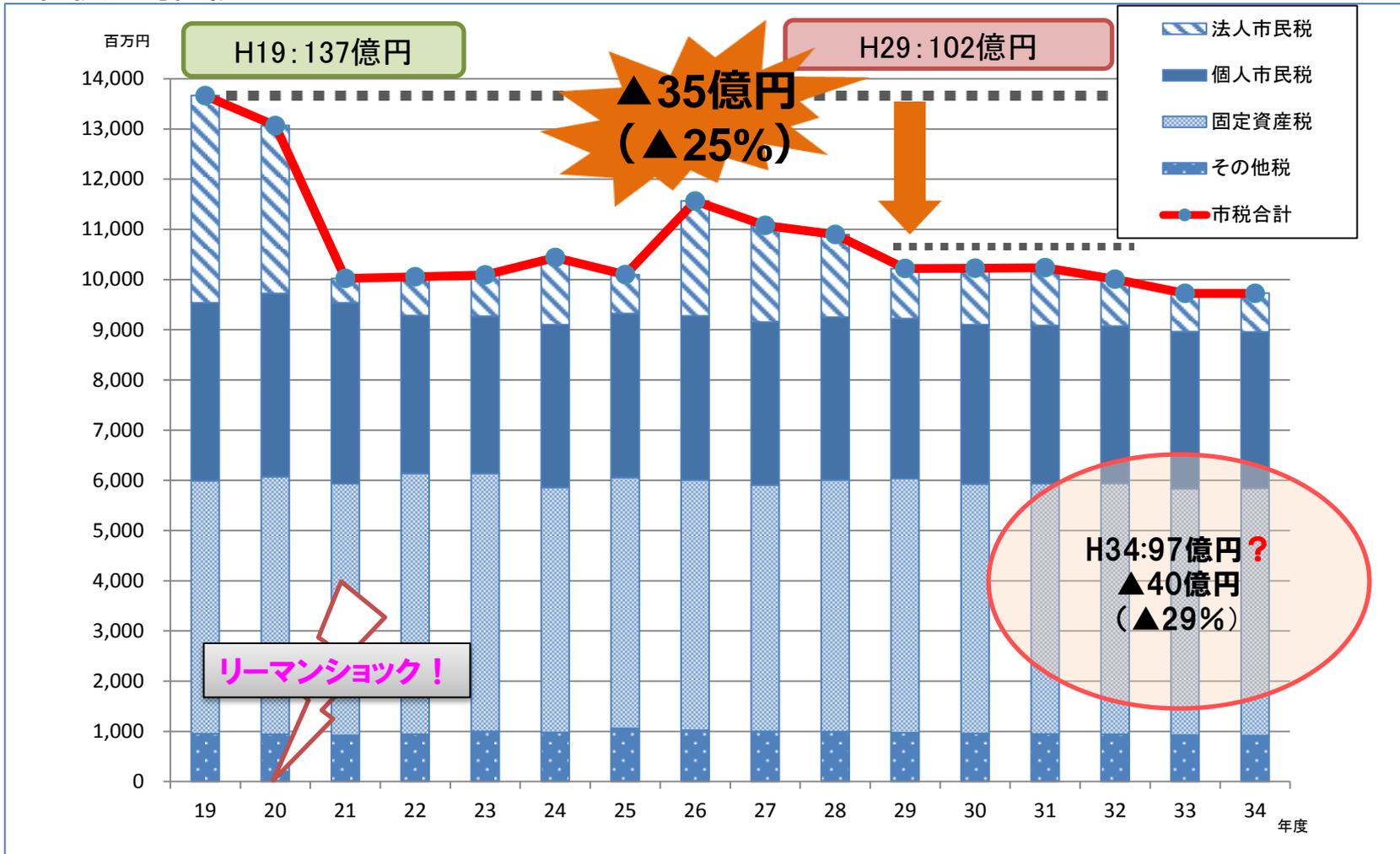
## 2. 行財政構造改革への取り組み



# 1-(1)歳入の見通し

## ①市税は減収傾向に推移

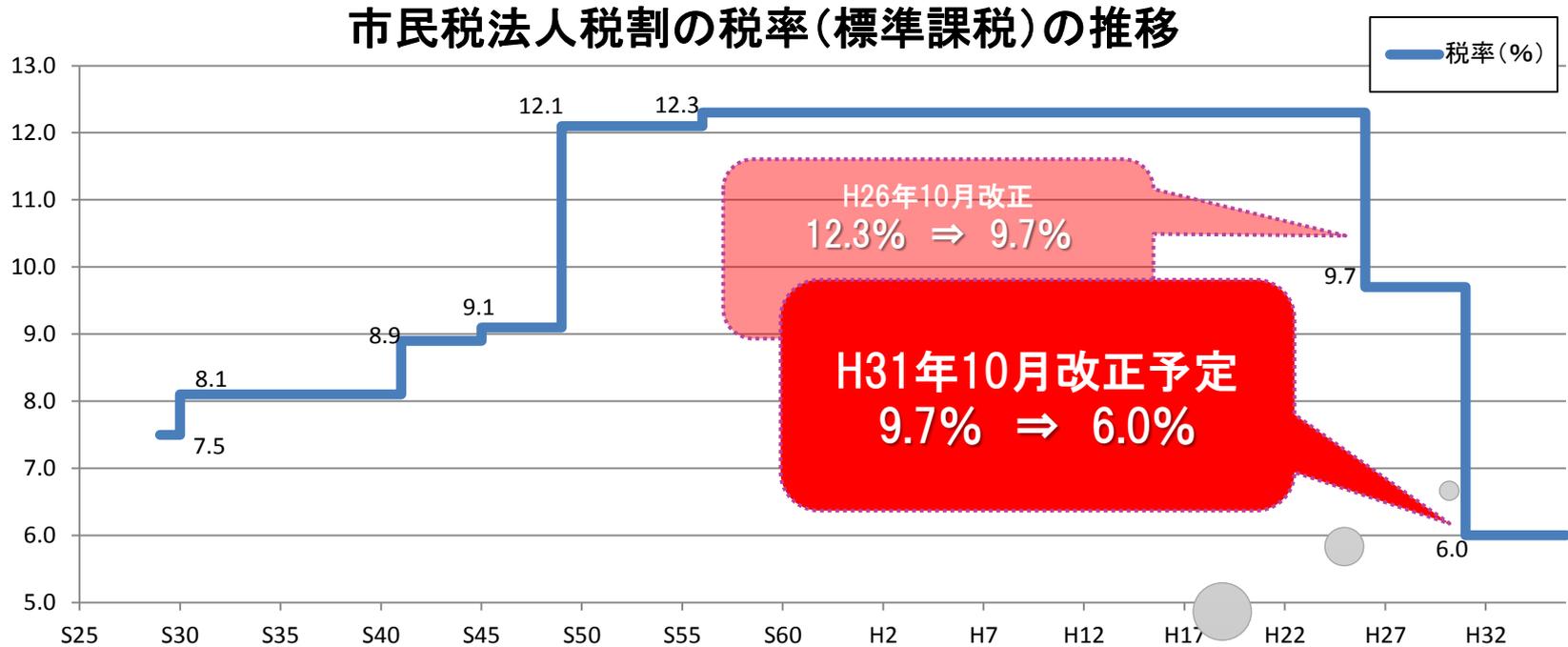
### 市税の推移



# 参考：法人市民税(法人税割)の改正

目的は、国による地域間の税源の偏りの格差縮小

法人市民税率の変遷



H19年度法人市民税収入：「41億3千万円」

↓ (税率改正の影響大)

同じ企業数、同じ営業実績で税率6%で算定すると

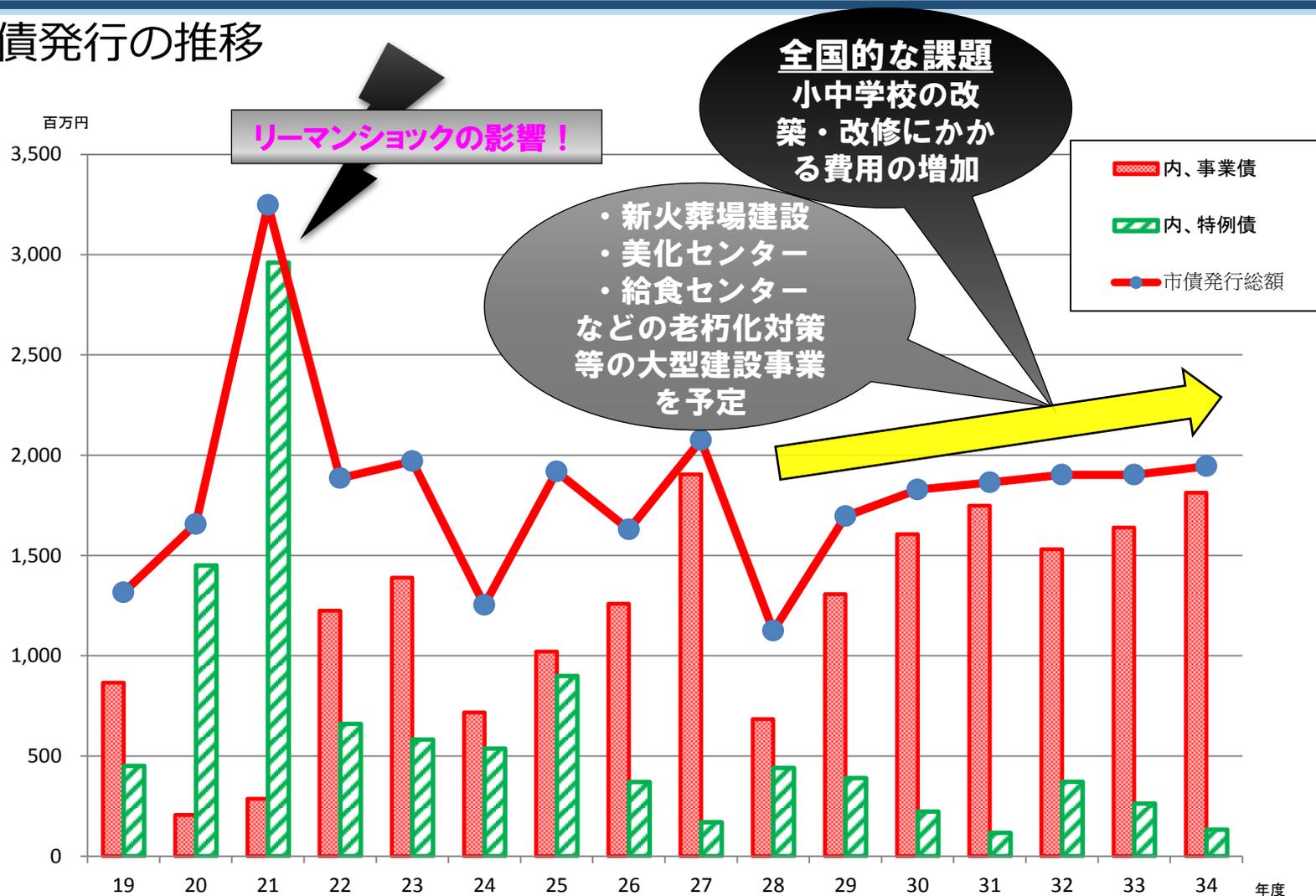
「20億9千万円」に減少(含む均等割1億5千万円)

**今後の企業の動向に注意!!**

# 1-(1)歳入の見通し

## ②市債(市の借金)は増加傾向に推移

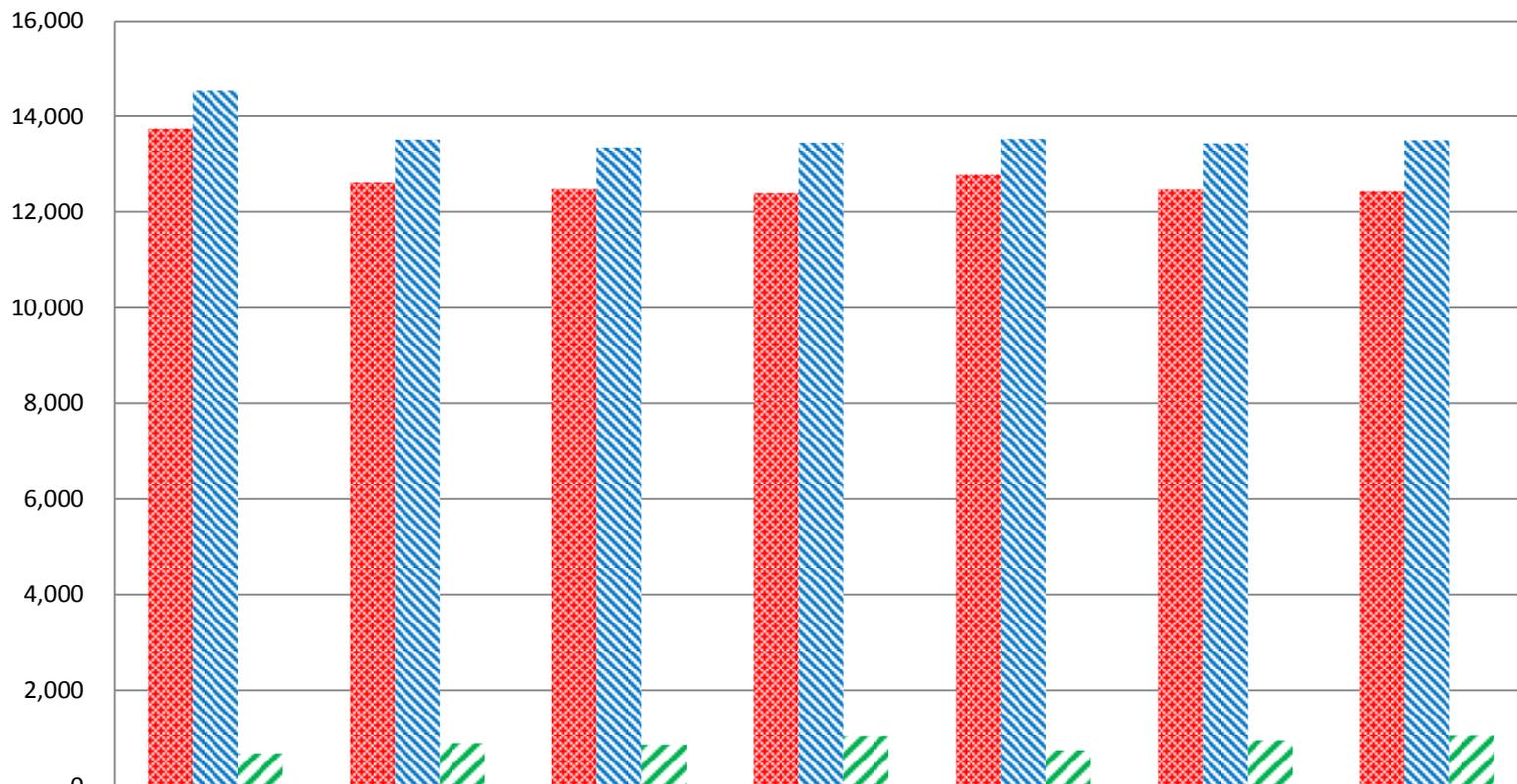
### 市債発行の推移



# 1-(2)裾野市中期財政計画 今後5ヵ年の収支は**支出過多**が続く

## 5ヵ年(H30~H34)の収支計画

(百万円)

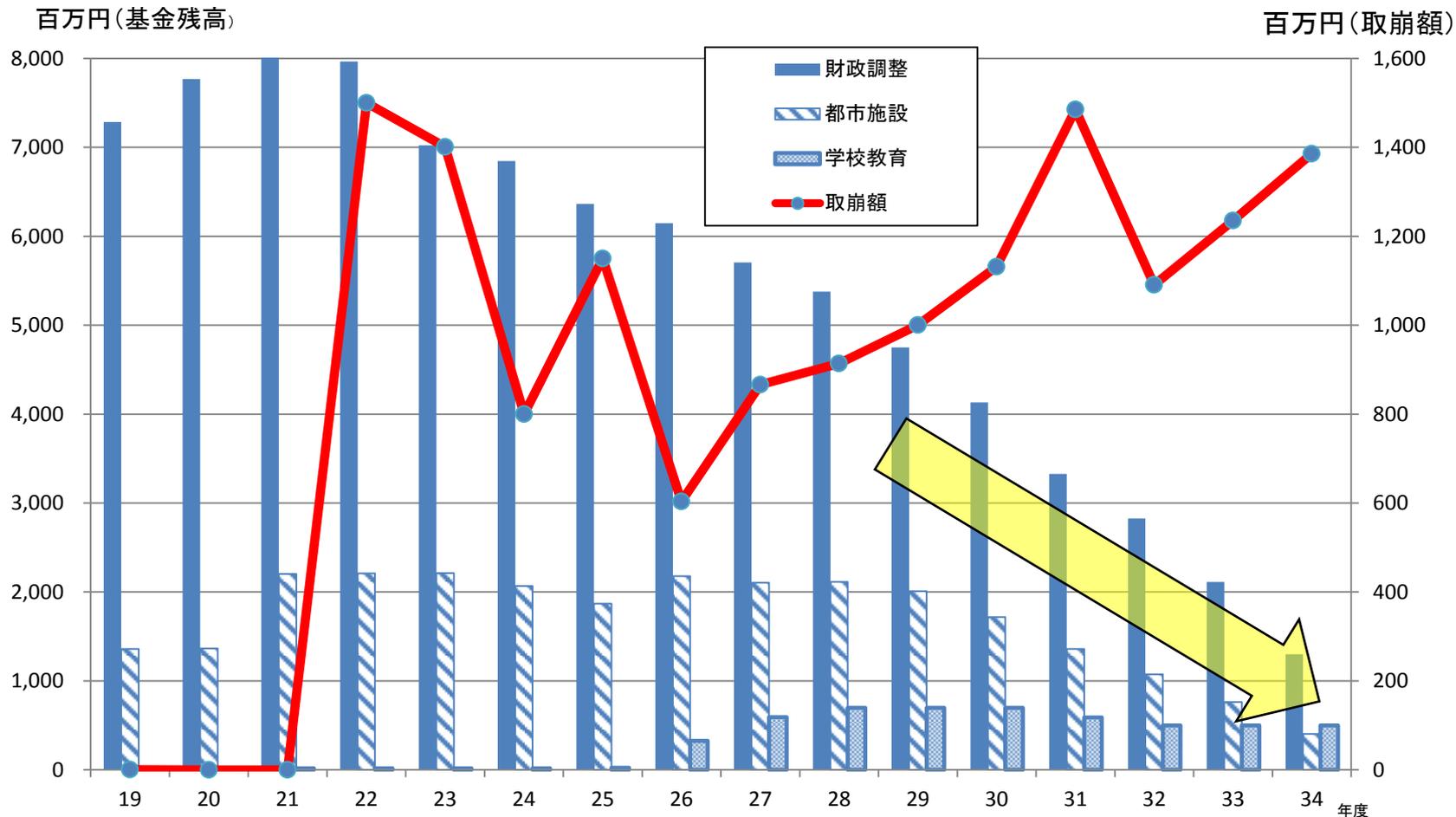


歳入一般財源	13,742,103	12,621,736	12,487,263	12,404,178	12,779,173	12,482,331	12,443,784
歳出一般財源	14,543,623	13,517,000	13,351,593	13,452,107	13,526,404	13,439,360	13,500,983
基金取崩額	683,746	895,264	864,330	1,047,929	747,231	957,029	1,057,199

**基金(預金)の取り崩しで対応・基金は減少が進む**

# 1-(3) 歳入不足に対応するための基金 (預金)の見通し5ヵ年で**65億**の基金取り崩し

## 主要3基金の推移 (現状)



※公表済みの中期財政計画より

1. 裾野市の財政(今後の5年)
2. 行財政構造改革への取り組み



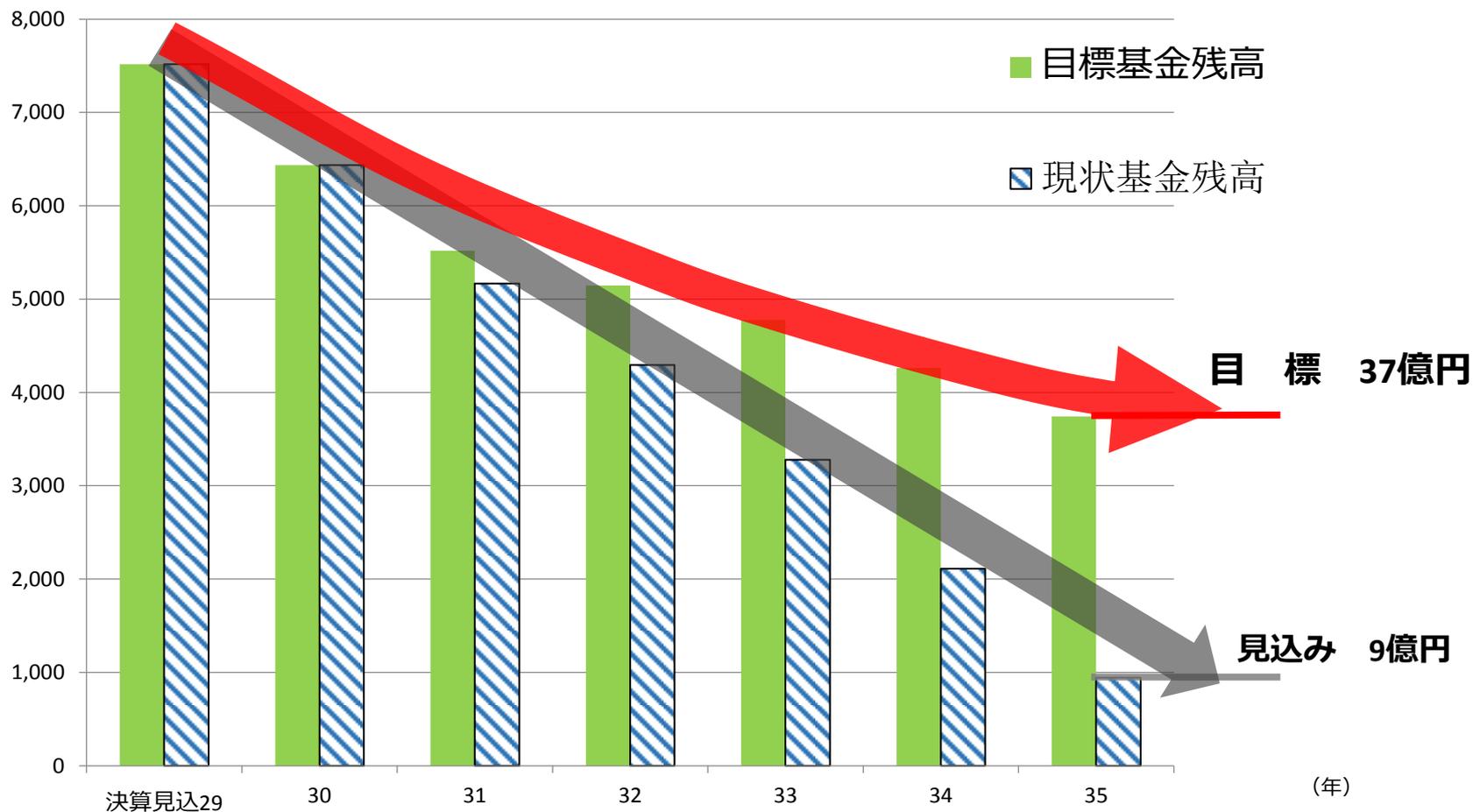
# 2-（1）基金（預金）の見通し

## 新たな取り組みで取り崩しを抑制



### 主要3基金合計額の推移（財政調整基金・都市施設建設基金・学校教育施設整備基金）

百万円（基金残高）



## 2-(2)健全で持続可能な行財政運営の推進



### ① 目標・対策期間・推進体制

#### ①-1 削減目標額

一般財源ベースで6.5億円の削減

#### ①-2 削減目標年度(集中対策期間)

平成31年度～平成33年度

#### ①-3 推進体制

市長を本部長とした行政改革推進本部を設置

全職員一丸となって取り組む

## ②具体的な取組み

### 安定した行財政運営に向け

#### ○歳出の抑制に向けた取組

- 事業の抜本的見直し（ゼロベース）  
（統廃合・休止の検討を徹底・対策期間中は新規事業原則禁止）
- 学校を含めた施設規模の最適化・借地の解消の検討

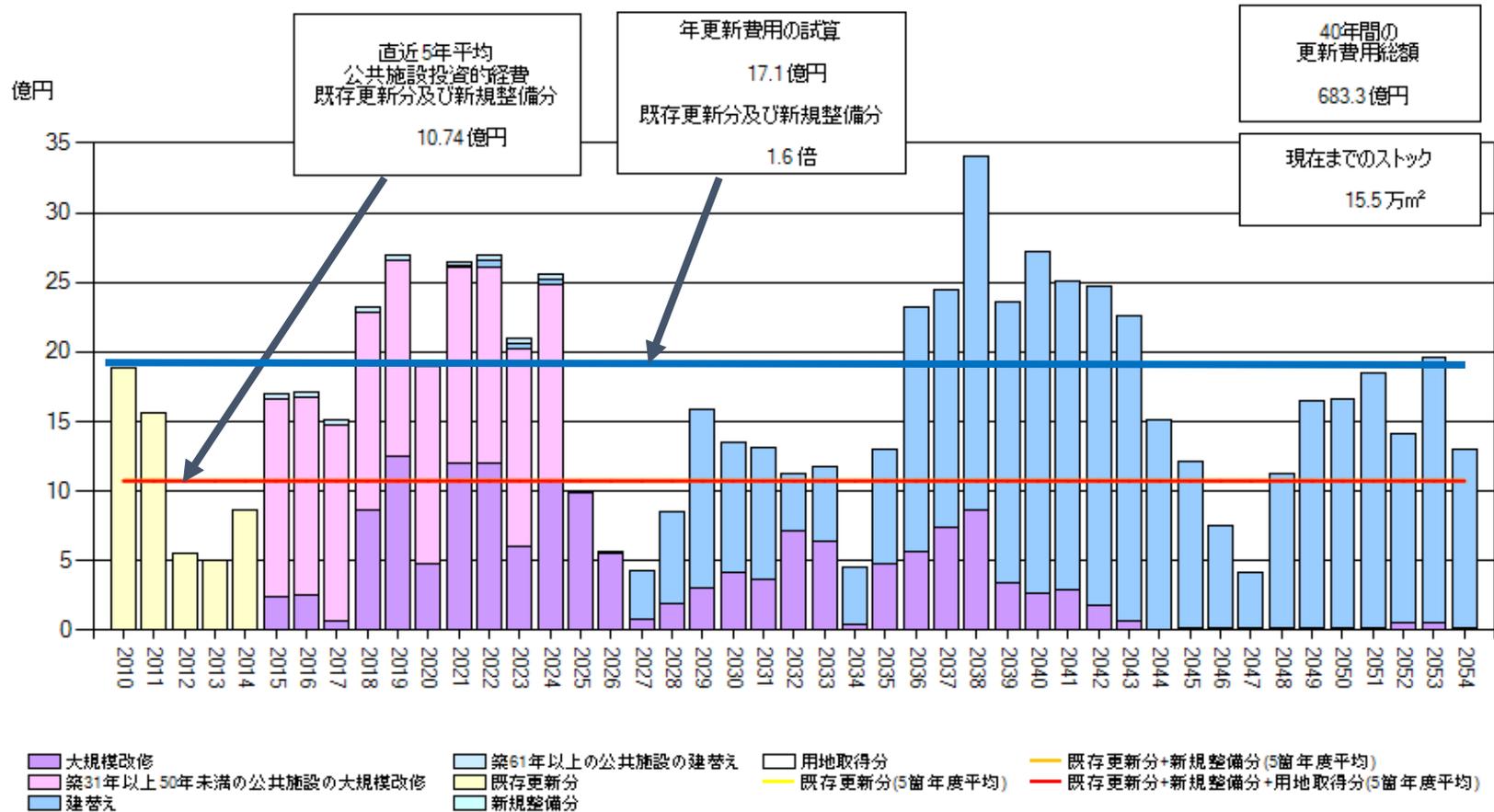
#### ○歳入の積極的な確保

- 自主財源確保（普通財産の売却等）
- 市税収確保（ふるさと納税の推進・定住促進による税収増等）
- 使用料・手数料の見直し

# 2-(3)公共施設等総合管理計画による ハコモノの縮減推進ーファシリティマネジメントー



【今後40年間に想定される公共建築物の維持管理費の推移】



計画目標値：**公共建築物の総資産量を30年で30%カット**

同時期に建てられた**学校・公共施設**の**建て替え**が**困難な時代**に

**裾野市の**  
**持続的発展のため**  
**全職員で知恵を出し合い**  
**頑張ります。**

ご理解、ご協力をお願いいたします。

**裾野市長 高村 謙二**